

ベネフィット・ワン、企業向け健康管理システム 「ハピルス健康管理」を提供開始

～健康管理の分断解消を目指し、健診から結果管理までを一気通貫へ～

株式会社ベネフィット・ワン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：羽生 和之）は、企業の健康経営を支援する新サービスとして、クラウド型健康管理システム「ハピルス健康管理」を2026年6月15日より提供開始します。

本サービスは、当社が提供する健診代行サービス「ハピルス健診」と連携し、健診の実施から結果の管理・運用までをワンストップで提供するものです。従来、健診とその後の健康管理が分断されがちであった運用を見直し、一貫した業務基盤として再構築することで、企業の健康管理の実効性向上を支援します。



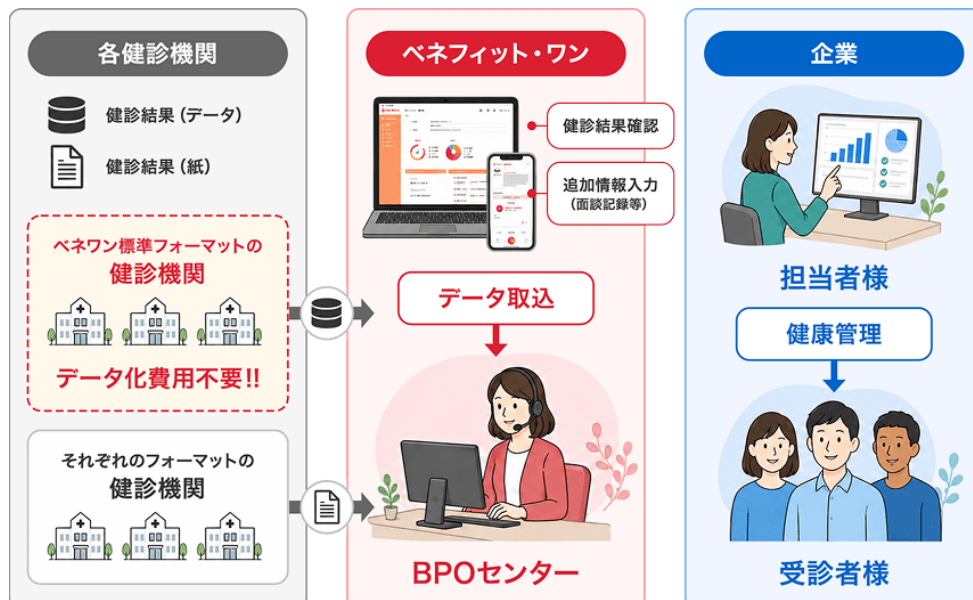
■ 新サービスの概要

「ハピルス健康管理」は、ベネフィット・ワンが自社ブランドとして新たに開発・提供する企業向けのクラウド型健康管理システムです。

これまで当社は、健診代行サービス「ハピルス健診」を通じて企業の健診業務を支援してきました。一方で、健診後の結果管理においては、他社サービスや個別運用に依存するケースも多く、業務や情報が分断されることによる非効率が生じていました。

本サービスの提供により、健診の実施から結果の管理・運用までをワンストップで実現できるサービスを自社ブランドとして確立します。これにより、複数ベンダーにまたがる運用を解消し、業務の一貫性と効率性を高めます。

ハピルス健診からのワンストップの流れ



また、健診代行サービスと連携することで、健診結果データの取り込みから二次健診対象者の抽出、受診勧奨の進捗管理までを一元的に管理でき、従来手作業に依存していた業務の標準化と効率化を推進します。これにより、属人化の低減と業務負荷の軽減を図り、企業の健康管理を持続的に運用可能な体制へと転換します。

さらに、健診代行サービスとのセット利用を前提とすることで、個別にサービス導入を行う場合と比較して、初期費用および運用コストを抑制し、導入しやすい価格帯での提供を実現しています。

『ハピルス健康管理』サービスサイト：<https://corp.benefit-one.co.jp/service/hc/kenkokanri/>

■ 今後の展開

ヘルスケア領域は、AI等の技術革新の進展により、今後マーケット構造が大きく変化する可能性が高い分野です。当社のヘルスケア事業においては健診代行を中心とした事務代行業務が主たるビジネスとなっていますが、中長期的には単なる「管理」にとどまらず、本サービスを通じて収集・蓄積される健康データを基盤に、企業および従業員双方に対する価値提供の高度化を目指します。具体的には、当社が提供する福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」との連携を通じて、個々の健康状態やニーズに応じたサービス提供を実現し、健康増進や行動変容を促す新たな施策の展開につなげていきます。

これにより、従来の業務効率化にとどまらず、データを起点とした付加価値の創出へと領域を拡張し、企業の健康経営をより実効性の高い形で支援していきます。あわせて、Daiichi Life グループにおける新規事業領域との連携も視野に入れながら、中長期的な事業成長に向けた取り組みを継続的に検討していきます。

■ 株式会社ベネフィット・ワン 会社概要

- ・会社名 : 株式会社ベネフィット・ワン
- ・代表 : 代表取締役社長 羽生 和之
- ・設立日 : 1996年3月15日
- ・所在地 : 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー37階
- ・事業内容 : 福利厚生事業、ヘルスケア事業、インセンティブ事業、購買・精算代行業業、パーソナル事業、CRM(Customer Relationship Management)事業 他
- ・URL : <https://corp.benefit-one.co.jp/>

▼ 報道関係者お問合せ

【株式会社ベネフィット・ワンについて】
広報担当 担当/妻木、河村、藤原
E-mail: beneone_press@benefit-one.co.jp